

日時	2024年2月10日(土) 9:30 ~ 12:00 天候：曇
場所	湿地、2階交流スペース

講座・活動名	<b>湿地モニタリング調査 &amp; 観察園全樹木調査</b> 毎月第2土曜定例
参加者	19名(うち子ども0名) 構成：講師2名、(環境局2名) NTT西日本関西支店4名、エコボラ10名、事務局1名
講師名	鈴木真裕(大公大)、北川ちえこ* (エコボラの場合氏名に*印をつける)
内容	生き物調査、データ入力、(報告書作成)
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) 調査用紙、ボード、バケツ、スコップ、鍬、一輪車、粗朶用の竹、ひも、はさみ
振り返り  エコボラ通信に掲載することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の石組みの内と外で出現する植物の比較を行うため、境界が見えるように枯れ草を刈り取り、石の周囲をスコップで掘り、刈り取ったイネ科、主にタチスズメヒエは水田Bに投入した</li> <li>・ただし、石の周囲のみを刈り取って、それ以外の枯れ草は残した</li> <li>・石組みが現れてから、ため池(コウホネの池)の調査と全樹木調査に分かれて作業を行った</li> </ul> <p><b>ため池の生き物調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湿地と共通する種は多いが、モツゴとカワニナが見つかった</li> <li>・アカミミガメやコイ(外来)は見つからなかった</li> </ul> <p><b>全樹木調査の準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実生林の10本を対象に、ラミネートラベルに園芸用ワイヤーを回して、ワイヤーの上から打ち付けた</li> <li>・1か月後の耐久状況を確認する</li> </ul>
事務局への 伝達事項 次回案内等	★2月は現状のままとし、3月第1週に水をいれて第2週に様子を見る予定 2月作業は、石組みの枯れ草とりを11時までとし、その後に樹木調査チームとコウホネ池調査チームに分かれて活動する。

スタッフ氏名	活動内容	参加者氏名	活動内容
竹原秀樹	湿地調査とコウホネ池調査	NTTのみなさん	石堀り。樹木調査準備4名
西田敏子	植物調査、石堀りとコウホネ観察	鈴木真裕	動物調査・コウホネ池動物採集
鈴川博司	石堀りとコウホネ池補助	北川ちえこ	植物調査、石堀りとコウホネ観察
渡辺喜代子	植物調査、石堀りとコウホネ池補助	(環境局 諸岡)	石堀りと樹木調査準備
忍喜博	石堀りとコウホネ池動物採集	(環境局 船木)	石堀りと樹木調査準備
井上寿子	コウホネ池補助	(事務局 新名)	石堀りとコウホネ池補助
木山正隆	石堀りとコウホネ池補助		
中谷憲一	昆虫調査		
芝崎美世子	石堀りとコウホネ池動物採集		
栴元慶子	撮影、標本づくり、樹木調査準備		

いずれかに○→(○)裏面に図面、写真等を添付した ( )裏面なし ( )詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2024年2月10日(土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査		

湿地の状況 240203



北方向 20240203

南方向 20240203



湿地の状況 240203



西側 20240203

東側 20240203



湿地の状況 240210



北方向 20240210

南方向 20240210



## 湿地の維持管理作業 240210



動物調査と枯れ草刈り  
20240210

タチスズメノヒエは刈り取らないと石組みが出てこない

周囲の石組みの内と外で出現する植物の比較を行うため、境界が見えるように枯れ草を刈り取り、刈り取ったイネ科は水田Bに投入した



石組みが出た

## 湿地の維持管理作業 240210

撮影 NTT西日本 井上文夫

作業後の周囲の石組みの状態→

タチスズメノヒエ繁茂の対応



先月刈り取ったイグサと編むために藍で染めた綿



## ため池生き物調査 (コウホネの池) 240210

- ✓ コウホネはほとんど枯れていた
- ✓ 底泥を落葉とともにすくい採った
- ✓ 大型の魚類やカメ類はいなかった
- ✓ コウホネの整理は行われなかったが1株標本用に採集した



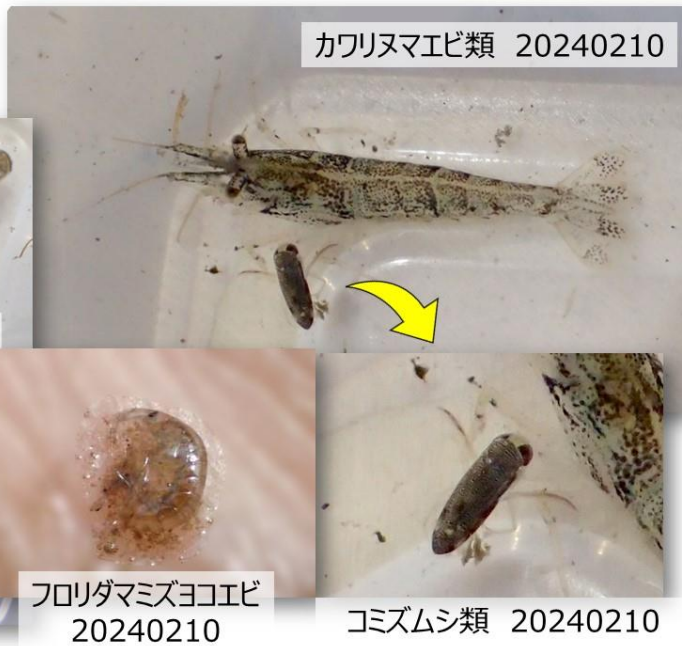
講師による解説 20240210

## ため池 (コウホネの池) の生き物 240210



モツゴ 20240210

ヒメタニシ アメリカザリガニ



カワリヌマエビ類 20240210

フロリダミズヨコエビ  
20240210

コムズムシ類 20240210

# ため池のコウホネ 240210

河骨：一説には根茎が白く、  
骨のように見えるから



骨に見えなくもない 20240210

# ため池のコウホネ 240210

根茎の切り口はすぐ変色



コウホネ根茎 20240210

図面・写真等 添付面

日時	2024年2月10日(土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	観察園全樹木調査		

耐久試験のため、下記の実生林内 10 本に、ラベルをつえたワイヤーをタッカーで固定した。  
 高さは 130cm 相当。(公園管理事務所には未届けのため、実生林内で実施)

樹木番号	樹種	参考 240203 樹高 cm	参考 240203 地面 10cm もしくは*胸高 直径mm
F003	イヌビワ	287	37.8
F004	イヌビワ	275	48.0
F005	エノキ	762	89.2
F006	エノキ	559	55.3
F011	ムクノキ	702	176.7
F012	サクラ sp.	634	201.2*
F013	クヌギ	984	139.4*
F014	クヌギ	994	156.9*
F029	センダン	608	59.8
F030	マグワ	993	251.5



白い札がついているのは、左から F011 ムクノキ、  
F006 エノキ、F005 エノキ

観察園全樹木調査準備240210

撮影 NTT西日本 井上文夫



← 試験的につけるラベルを選択

顔を防護しつつタッカーを打つ→

ラベルに園芸用ワイヤーを通して  
後ろでタッカーを打つ↓



## 観察園全樹 木調査準備 240210

- ✓ ラベルの取り付けは、園芸用ワイヤーを穴に通し、ワイヤーをタッカーで幹に打ち付ける方法を試した
- ✓ 1か月間の耐久試験として、10本に取り付けた
- ✓ 公園管理樹木ではなく、実生林の実生樹木を対象とした
- ✓ 公園管理事務所には環境局から連絡する

